



2月25日（土）、高知大学に短期滞在しているイタリア・サッサリ大学の学生さん二人と人文学部の二年生、先生方7人で室戸市吉良川町を訪問しました！

吉良川は明治から昭和初期に備長炭の取引で栄えた町。往時の繁栄の面影を残す古い町並みが魅力です。土佐漆喰と水切り瓦で台風から家を守る建築や強風の防護壁の役割をしたいしぐろ（石垣）などが残っています。

吉良川で

異文化交流と町並み探訪

してきました！



↑上の写真は町並み保存館で吉良川町並み保存会長の青木さんから説明を受けている様子です。後ろに移るお雛様も時代を追って何組か飾ってあり立派でしたよ◆真ん中はお雛さまのアップ！このお雛様は大正生まれました。◆その下の写真は青木さんの案内で町を散策している様子です。土佐漆喰の白壁に三層に重ねられた水切り瓦が美しいですね^^



修理が必要とのことでしたが、漆喰はこんな風に塗り重ねられています。建築を学んでいるイタリアの二人は興味津々。

昔、商家だったお宅。二階の「虫籠窓」が特徴です。格子も綺麗。



こんなレトロな床屋さんもなんだか絵になります。某映画のロケ地候補にもなったんだそうです。

二食分はあろうかというボリュームのミニ皿鉢一人前。



べっぴんさんの家にて。1200円。要予約。

大槻先生と女子学生一名は見事完食！さすがです。

これも吉良川の建物の特徴



「ぶっちょう」。閉じれば雨戸、広げて井戸端会議♪